

生活科

昨年度の取り組みと成果と課題

【 成果 】

- ・四季の変化を感じとることができる活動を繰り返し行い、季節によつての周りの様子や生き物の様子の違いを実感することができた。
- ・学校探検や縦割り班での遠足等、1、2年生間の交流を多く行い、2年生は上級生として自分たちにできることを考えたり、計画を立てたりすることができた。
- ・継続的に植物の世話や観察を行った。成長していく様子や喜びを実感し、愛着や責任感を育むことができた。

【 課題 】

- ・感染症拡大防止の観点から、地域との交流は最小限に留めざるを得なかった。感染症拡大の状況を踏まえながら、今後は地域との交流を増やしていきたい。
- ・同じく感染症拡大防止の観点から、トウモロコシやそらまめの皮むきなど、食に関わる学習は行えなかった。

学習状況の分析

○知識・技能

- ・1年生は、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることや通学路の安全を守っている人々の存在が分かってきた。
- ・栽培活動を行う中で、植物が変化し、成長していることに気付くとともに、生命をもっていることやその大きさに気付くことができた。
- ・2年生は、野菜を育て、観察や世話を通じて、野菜の変化に気付くとともに、成長に合わせた世話をすることができた。
- ・なかよし中萩の方々と協力し、様々な植物を育てることができた。

○思考・判断・表現

- ・栽培活動を行う中で、タブレットで写真を撮り記録することで、植物が変化していく様子について考える活動を行った。タブレット活用の技術に個人差はあったが、記録した写真から変化していく様子について考えることができた。また、観察のポイントを知り、観察カードにまとめることができた。
- ・学習の中で気付いたことを伝え合う等発信する活動が十分でなかった。

○主体的に取り組む態度

- ・学習活動に見通しをもち、体験的な活動（学校探検、植物の栽培など）に、楽しみながら意欲的に取り組んだ。
- ・自然との継続的な関わりを通して、季節の変化や植物の成長などに気付き、積極的に世話する児童となかなか世話ができず放置してしまう児童がいたが、咲いた花やできた実喜びを感じながら、関わるすることができた。
- ・司書教諭と協力し、植物に関する本を数多く集め、児童がすすんで本を読めるようにすることができた。
- ・2年生の町探検は、2学期に実施する予定である。自分たちの町の知っているところについて話し合うことから始めていく。友達と協力して探検したり、調べたりする活動を通して、自分たちの町について関心を高めていく。

授業改善のポイント（観点別）

○知識・技能

- ・ 四季の変化を感じ取れる活動を繰り返し行い、季節によっての周りの様子や生き物の様子の違いを実感できるようにする。
- ・ 異学年交流では年下の児童の希望などを取り入れて、それに沿った活動をする事ができたか振り返らせる。
- ・ 小さい頃の写真や思い出の品を手がかりにしながら、「今の自分」について振り返り、心、学習、生活、身体など、様々な面で成長した自分を表現できるように指導する。
- ・ 地域のお店や施設を訪問したり、そこで働く人々や利用する人々にインタビューしたりすることで、自分たちの生活は、様々な人や場所と関わっていることが分かるように指導する。

○思考・判断・表現

- ・ 他者に学習内容を紹介する動画を作ったり、虫を観察して本を作ったりするなど、学習の中で伝え合ったり発表したりする場面を設ける。
- ・ 児童自身の体験や活動を通じた気づきを教師が価値付ける。児童が試行錯誤を繰り返す場面を設けることで、思いを表現できるようにする。
- ・ 作ったり、遊んだりしているだけにならないように、学習の目標に沿った活動になるよう声掛けをしていく。また、気づきを本人だけにとどめず、グループ・クラス・学年などに広げ、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法で発表し、一人一人の気づきを全員で共有することで、思考をより広げていく。
- ・ 自分の気づきや思いを表現することが苦手な児童が、自信をもって取り組めるようにグループ編成や発表形態を考慮する。

○主体的に取り組む態度

- ・ 1、2年の異学年交流では、事前に児童の希望などを聞くなど、主体的に自分の思いを実現できるように活動を計画していく。自分たちの考えたことや気づきについて交流する場や時間を設ける。
- ・ 2年生では、町の人々やお店など様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めたりすることができるようにする。
- ・ 萩中公園、商店街、多摩川の土手や校庭を探検する学習活動を行うことを通して、自然の様子や四季の変化について関心意欲を高める。
- ・ 給食の食材である、トウモロコシ（1年）の皮むき体験をすることで旬を感じ、季節感を体得する。
- ・ 栄養士による食育の授業を通して、給食に関わる人たちの思いや残食について学び、食や生き物についての関心を高める。